

平成28年度 学校目標評価最終集計

領域	対象	具体的な目標	目標達成のための行動計画・方策など	評価	代表的な意見・評価の理由	
教育活動	全般	生徒の自主性を育てる	自主活動についての議論の場を設定。生徒自らの手で主体的・自主的な学校生活を送るための支援。	4.0	<p>【自治活動支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員と生徒で次年度文化祭についてよく話し合ったり、自治や生徒会活動の在り方について深く考察したりした。行事日程については、可能な限り生徒の意見を尊重した。 生徒会・学年幹事会への適切な助言・支援に取り組んでいる。その成果の一つが、全国高校生フォーラム、善光寺アカデミア、全国首長会議への自主的・意欲的な参加である。 <p>【自主的な学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予復習課題の配布や、授業中の教材に関する話題提供等により生徒の自主的な学習の意欲喚起を図っている。 基礎学力の定着が自主的な学習への第一歩であると考えて、補習を実施している。 アクティブラーニングを意識した学習形態に、自主的に参加しスキルを向上させている。 外部の催しを紹介し、自主的に判断し参加できる環境を整えている。 <p>【教科等の実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 質の高い授業を提供することにより生徒の主体的な学習意欲の喚起に努めている。 時間ごとに添削指導・小テストを実施している。 月ごとに難易度の高い問題の添削指導を実施している。 主体的を重視し、興味関心に応じた個別指導をしている。 	
	学習指導	広い分野で確かな学力を養う	土曜日授業を活用した学習時間の確保と学習の深化の工夫。授業改善のための校内研修。自学自習ができる向上心・探究心の涵養。	4.0	<p>【土曜日活用の研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> 土曜日授業については長所短所がそれぞれあり、抜本的な見直しをする必要がある。これまで4年間の土曜日授業の総括から、また高大接続改革等の動向をふまえ、早急に新教育課程の構築に取り組む。その際、土曜日の活用のあり方についても並行して考える。 <p>【学年集会・HRでの喚起】</p> <ul style="list-style-type: none"> 機会あるごとに学年集会を実施し、集団全体にその時々の具体的なイベントの意識づけとその後の方向性を示した。それをもとにHRでは、個々の生徒の状況を見ながら細部にわたる指導をこころがけた。 <p>【教科等の実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科で精選の上、多様な教材を配布し指導にあたっている。 補習・添削指導の実施。1・2年では学習合宿を実施する。 1年生に対して、入学初期に高校生としての学習方法について指導助言を行った。 	
		進路希望の実現を図る	学力実態分析に基づく3年間の学習指導の構築。新教育課程の実施。	4.0	<p>【係の実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「黎明」を発行し、卒業生からの学習アドバイスや受験体験を生徒に伝えることができた。 新教育課程への対応を継続して研究している。 学校視察を行い広く進路指導の研究をした。 <p>【学年の実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学年学習進路の手引き」を作成した。 調査及び校外模試の成績の分析を詳細に行い、校内でその情報の共有ができた。 学習・進路実態調査を実施して生徒の学習状況を把握し、個別面談に有効に利用した。 <p>【教科等の実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画(シラバス)を作成し、それに基づく丁寧な学習指導を行った。 生徒の進路希望に合わせた補習授業、添削指導、小論文指導、学習合宿を行い、個々に応じた適切な指導ができた。 	
	進路指導	計画的な指導を行う	卒業生による大学・学部・学科案内の活用。企業・大学・研究機関との連携を図り、大学見学・インターンシップ、講演会等のキャリア教育の充実。進路学習の徹底・進路便りの発行・保護者への情報提供。	4.0	<p>【係の実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通した進路指導計画を立案しその適切な実施に努めている。 キャリア研修旅行、卒業生と語る会、進路別ガイダンス、個別大学説明会を実施し、生徒の進学意欲の喚起に努めた。 各学年で進路通信を発行し、進路意識の高揚に努めている。 「黎明」を発行し、先輩の言葉を通して学習や進路について考える機会を与えた。 学習実態調査、進路希望調査の結果を個別指導で活用している。 大学入試情報の提供を随時おこなった。 新課程対応について情報を収集している。 <p>【キャリア研修・オープンキャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1学年は訪問先の事業所を増やしてキャリア研修を実施した。2学年は東海地区・京都方面のキャリア研修旅行を実施した。各学年でオープンキャンパスへの参加を奨励した。東大生とのワークショップを実施し、生徒の学びの意欲向上につなげた。 1学年で大学教授による模擬講義を実施し、大学での学習、研究内容について生徒の理解を深めた。 <p>【教科等の実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業や補習を通じて学問的興味を喚起するとともに、基礎学力の定着を重視した指導を行った。 <p>【実技・面接指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学科志望者に対して地元病院や予備校の協力を受け模擬面接指導を実施した。推薦入試の面接、小論文試験については校内で個別に対応した。 体育系進学希望者には実技指導を含めて対応している。 	
	生徒の自治	自治活動を保障し自治的精神を育成する	学級活動・部活動・生徒会活動における生徒の自主性やリーダー育成のための機会の保障と指導助言。文化祭・講演会など生徒会行事に対する支援と指導助言。	4.1	<p>【自治的活動の涵養】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動では、本校伝統の「自治」の精神を生徒・職員で共有し、生徒の自主性を尊重すると同時に、広く社会に受け入れられる人格形成の涵養の場として位置づけ、その活動を保障した。生徒主体の活動が定着している。 ボケモンGOに関しては生徒会がいち早く校内自粛に取り組んで効果を上げた。 <p>【幹事会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年のルーム長から構成される幹事会には、生徒の自主性を十分に尊重しつつ、職員も助言という形で指導に関わった。これにより学年クラスマッチ及びその他の学年諸行事が機能的に運営された。 <p>【HRの実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒大会に関しては、各HRで事前に審議書を配りHR討議をおこなうことによって、生徒大会の討議が充実した。 自主活動全般に関して、活動における安全面の配慮と指導に今後一層取り組んでいく。 	
	生活指導	規律ある生活のリズムをつくる	学習を中心とした生活リズムの確立(部活動・生徒会活動の時間徹底)。清掃・保健・交通安全指導。	3.7	<p>【生活リズムの管理・交通安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動時間の厳守を再確認し、第1時限の遅刻や家庭学習時間の減少といった、学習への弊害が生じないよう配慮した。 自転車事故防止と交通マナー向上のため、交通安全委員会はもとより、今年度も全職員による街頭指導を実施した。5月には全生徒対象の交通安全教室を実施し、登下校時の安全に対する意識を高めた。 生活実態調査や進路調査を実施しクラスや個別の指導に活用している。 <p>【職員間の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒のメンタル面へのケアのための職員研修を行い、生徒の指導に役立てた。 テスト前の1週間は部活動を控え、勉強に専念することを再確認し、実践されている。 生活実態調査を実施し、問題点の把握と解決を図っている。 <p>【清掃】</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚生委員が中心となって行う校内ワックス掛けは、有志も含む自主的雰囲気の中で行われ、伝統ある校舎の美化に貢献している。 【長期休業中の指導】 課題を設定し、学習時間の確保と日々の生活リズムの定着を援助している。 	
		適切な個人指導及びカウンセリング体制を充実させる	教科担任・HR担任・クラブ顧問の連携。きめ細やかな生徒相談の実施。保護者との懇談の実施。	3.8	<p>【カウンセリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員が情報を共有し、悩みを持つ生徒への丁寧な対応が心がけられた。 学校カウンセラーの支援のもと、保護者の理解と協力を得て、連携のとれたきめ細やかな指導ができた。 <p>【サポート体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援の必要な生徒に対し、サポート委員会を中心とし、チームとして具体的な支援を考えた。 定期的な連絡会もち、全体に報告し情報を共有し共通認識を深めている。 <p>【学習の悩み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定の分野において、理解が不十分な生徒に対して、授業への取り組みに関する面談をしながら補充指導を適切に行った。 各教科から成績、欠課の状況について担任との連絡を密にし、生徒本人に対しても声かけ指導等を適切に行った。 	
	学校運営	安心安全な学校	快適な学校環境の整備を図る	危機管理体制の整備。いじめ・体罰のない学校環境の確保。健全な職場づくりの推進。環境対策(ごみの削減、電気・水道使用料の削減)。	3.8	<p>【いじめ・体罰への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ、体罰、悩みアンケートを実施(昨年)した。いじめ・体罰はないことを確認できた。 <p>【環境対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症拡大防止については早期の対策を心がけ、起点となりそうであった部活と連携して効果的に対処することができた。 健全な職場づくりへの具体的な対応ができた。 <p>【事務室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「松本深志高等学校の環境に対する20のチェックポイント」により、教職員一人ひとりが環境負荷の低減に取り組んだ。 不要なパソコン・TV・量などの処分を行った。
		保護者との連携を図る	PTA総会の開催、学年・学級PTAの開催。地区PTAの開催、保護者面談の実施。適切な時期における保護者懇談会の実施。緊急時メーリング・システムの活用。	4.0	<p>【緊急時メーリングシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急時メーリングシステムにより生徒・職員への連絡が容易になり、台風・大雪など緊急時への適切な対応ができるようになった。 特に1年生の加入率が高まっていて、危機対応への意識の向上が認められる。 <p>【学年等の実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年1回のPTA総会・学年PTAの実施、複数回の学級PTAの実施によりそれぞれの方針・課題を伝え、共有することができている。 地区PTAは出席率も高く、非常に有効な交流の場となっている。そのため新たに開催される地区が増えてきている。 適宜、正副担任と保護者・生徒との面談を実施し、学校生活や進路についての相互理解をはかっている。 <p>【他校との交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> PTA活動の一環として、本校、長野高校、上田高校の3校による交流会を実施している。本年度は上田高校が当番で、授業、クラブ活動を見学させていただいた。情報の交換をし親睦を深めることができた。 	
		開かれた学校	開かれた学校をめざす	「評価および公開方法」の改善と充実。保護者・地域・中学校への情報発信。中学生体験入学等の実施。学校評議員会の開催、ホームページの充実。	3.9	<p>【公開授業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年2回の公開授業を実施した。4月は30名強の方に見学していただいた。10月は卒業生の特別講義も見学の対象とした。アンケートからは大変好評で、本校の授業の様子を十分に理解していただけたことが窺える。9月の体験入学では、540名の中学生が体験授業を受けた。概ね好評であった。その他、合唱コンクールなど、多くの学校行事に保護者が訪れた。 <p>【各種講演会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒対象の様々な講演会や音楽会などの行事を公開している。人権教育講演会では、生徒からの活発・的確な質問に地域の方々からも感心の声を寄せていただいた。 <p>【中学校などへの発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生体験入学は生徒・保護者約700名に参加していただいた。体験授業は例年通り好評であったが、全体会で生徒会からの発表時間を長く充実させるなどの改善点を加えて更に高評価を得た。 <p>【学校評価・HP】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の評価、また学校評議員・PTAによる外部評価をおこない、会報やHPIによって報告することができた。 HPを迅速に更新し、内容も充実させた。